

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課美術館

会議名 令和8年度第1回諏訪市美術館協議会

開催日時 令和8年5月18日（月） 10時00分 から 11時30分まで

開催場所 諏訪市公民館視聴覚室

出席者
（出席委員）早出優里、押澤利満、奥石美和子、高田一郎、竹森公男、藤森民雄、宮坂武芳（敬称略）
（欠席委員）金井直、源馬菜穂、西村文子（敬称略）
（オブザーバー）玉本教育委員
（事務局）三輪教育長、小林教育次長、小泉生涯学習課長、濱館長、北原主査

資料 令和8年度第1回諏訪市美術館協議会 資料

協議議題（内容）及び会議結果（要旨）

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 自己紹介

4. 議事

(1) 令和7年度事業報告

＜主要な意見＞

- ・学校連携展に関わらせてもらい、やって良かったと思っている。担当教諭として、もっと子ども達の思いやがんばりが見えるような展覧会作りを意識して、今年度は取り組みたい。
- ・学校連携展は、小さな作家たちがどう感動したかが展示から伝わってくると嬉しい。
- ・部活動の地域移行が進む中、探究・人間形成の場として、美術と向き合う機会はますます重要。
- ・展覧会についての来館者アンケート、イベントの参加者アンケートなど集計した内容や、それを活かして工夫していること等を、何らかの形で公開すれば、美術館の努力が伝わるのではないかな。
- ・ボランティアが感じている「楽しさ」を細分化することで、今後の研修内容に活かせると思う。
- ・ボランティアが、これまでの経験について大学生たちに話し、意見交換など行う機会は、活動内容の言語化と振り返りとして、研修的な意味を持つのではないかな。
- ・ボランティアがやりがいを感じているという感想はとても大切なもの。ボランティアと美術館との関わりをもっと「見える化」しても良いと感じた。

(2) 令和8年度事業計画 第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく重点的な取組について

＜主要な意見＞

- ・70周年記念展は、タイトルこそ地味だが、こうした振り返りをやることで館の意義や歴史を見つめ直す良い機会になる。諏訪が持っている歴史遺産的な美術の力を見せられると良い。
- ・70周年記念展では、振り返りばかりではなく、これから先のことが含まれると良い。子ども達や若い人が参加して、こんな風になると良いな、と自分たちの居場所のように感じられる仕掛けがあると良い。
- ・宣伝効果の面で、70周年記念展のチラシ制作のスケジュールがもう少し早いと良かったのではないかな。
- ・記念展後期の展示作品の募集に期待している。保育園児や小中学生、高校生が出品できるような雰囲気だと良い。「ああいうのも美術なんだ、楽しいね」と伝えられるように見せられると良い。
- ・学校の子供達達が作品に向かう姿の映像を繋ぎ合わせるなどして、美術館の白い壁面の一角を活用してプロジェクションマッピング的に映像を流してみたら面白い（肖像権についての整理は必要）。

5. その他

- ・60周年の際、協議会委員が収蔵庫の様子を見せてもらった。あれからどう変わったのか、また今後の美術館を考えるという意味で、委員が収蔵庫の現状を見学する機会を作ってもらいたい。

6. 閉会